

熊本高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	古典文学	
科目基礎情報							
科目番号		0192		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		建築社会デザイン工学科		対象学年		5	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		配布プリント					
担当教員		道園 達也					
到達目標							
1. 古典文学の概要と、主要な作品に触れる。 2. 主要な作品について討論できる。 3. 自分の観点で意見を述べるができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		古典文学の概要と、主要な作品に触れ、自分の観点で意見を述べられる。		古典文学の概要と、主要な作品に触れる。		古典文学の概要と、主要な作品に触れることがない。	
評価項目2		主要な作品について主体的に討論できる。		主要な作品について討論できる。		主要な作品について討論できない。	
評価項目3		自分の観点で意見を述べることに主体的に取り組むことができる。		自分の観点で意見を述べるができる。		自分の観点で意見を述べるができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		古典文学に表現された人間の知を読み解きたい。人生や社会、自然に対する思想と感性は、共通性と差異によって（いま・ここ）に生きる私たちの姿を照らし出してくれる。 様々な古典文学を読むことで、その一端に触れたい。					
授業の進め方・方法		毎時発表資料を配付して、様々な古典文学を読む。それぞれの作品について概要を紹介し、読解のポイントを示すので整理して理解してほしい。古文への抵抗感をやわらげ、その世界が身近に感じられるように配慮したい。					
注意点		授業で取り上げた古典文学作品について概要とともに、読解のポイントを理解すること。 ディスカッションに積極的に参加し、成果物を確実に提出すること。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 文学史		文学史の基本的考え方について理解する。		
		2週	漢詩文		漢詩文の歴史、および主要な作品に触れ、討論を経て、自分の観点で意見を述べる。		
		3週	和歌		和歌の歴史、および主要な作品に触れ、討論を経て、自分の観点で意見を述べる。		
		4週	物語（源氏物語以前）		物語（源氏物語以前）の歴史、および主要な作品に触れ、討論を経て、自分の観点で意見を述べる。		
		5週	日記文学		日記文学の歴史、および主要な作品に触れ、討論を経て、自分の観点で意見を述べる。		
		6週	枕草子		枕草子に触れ、討論を経て、自分の観点で意見を述べる。		
		7週	源氏物語		源氏物語に触れ、討論を経て、自分の観点で意見を述べる。		
		8週	物語と主人公（討論会）		物語と主人公について発表と討論をおこなう。		
	2ndQ	9週	物語と主人公（討論会）		同上		
		10週	漢詩と和歌		漢詩と和歌の歴史、および主要な作品に触れ、討論を経て、自分の観点で意見を述べる。		
		11週	物語（源氏物語以後）		物語（源氏物語以後）の歴史、および主要な作品に触れ、討論を経て、自分の観点で意見を述べる。		
		12週	物語と間テキスト性（討論会）		物語と間テキスト性について発表と討論をおこなう。		
		13週	物語と間テキスト性（討論会）		同上		
		14週	説話文学		説話文学に触れ、討論を経て、自分の観点で意見を述べる。		
		15週	説話文学		同上		
		16週	定期試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。		3	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。		3	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。		3	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。		3	

				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3	
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	3	
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	3	
				結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	3	
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	3	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどのように活用・応用されるかを説明できる。	3	
				コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	3	

評価割合

	課題	レポート	討論への参加	試験			合計
総合評価割合	30	20	10	40	0	0	100
基礎的能力	30	20	10	40	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0